

部局名	生涯学習部	所属名	図書館	所属長名	遠藤 昌子	電 話	482-3240
-----	-------	-----	-----	------	-------	-----	----------

1. 事務事業の位置付け・概要（P L A N）

コード	4160	事務事業名称	緑が丘図書館蔵書管理事業					短縮コード	経常		臨時	4160
予算区分	会計	01	一般会計	款	05	労働費	項	01	労働諸費	目	02	緊急雇用対策費
区 分	☒ 自治事務 ☐ 法定受託事務 ☐ その他				根拠法令等	図書館法・八千代市立図書館設置条例・八千代市立図書館管理運営規則・八千代市図書館協議会運営規則・千葉県緊急雇用創出事業臨時特例基金条例・千葉県緊急雇用創出事業臨時特例基金事業補助金交付要綱						
事業概要（事務事業を開始したきっかけを含めて記入）												
この事業は、千葉県緊急雇用創出事業臨時特例基金を活用し、失業者に対する短期の雇用・就業機会の創出・提供を図るために実施した事業である。 緑が丘図書館では、平成16年4月の開館時より、ＩＣタグを参考図書やＣＤに添付し、出入り口に設置したゲート、ブックディデクションにより図書館資料の不正持ち出しの防止に努めてきた。平成21年度より、県の補助金を活用し雑誌を除く全資料にＩＣタグを添付することで蔵書管理を行う。												
事務事業を取り巻く状況の変化 又、今後の変化の推測					総合計画の施策体系	5本の柱（章）	05	産業活力都市をめざして				
ＩＣタグの機能が拡がり、不正持ち出し防止のほか、将来的には自動貸出機の導入により利用者サービスの向上や蔵書点検の作業量を軽減できる。						大項目（節）	03	労働環境				
						中 項 目	01	労働環境				
						小項目（施策）	01	職業相談の充実と就業の安定				
						細 項 目	01	若年者の就業支援				
02	高齢者・障害者の就業促進											
					実 施 計 画 の 計 画 事 業							
計画事業の位置付けの有無				☐	計 画 事 業 期 間		～		計 画 事 業 費		千円	

2. 事務事業の目的・指標・実績（D O）

対象 （誰を何を対象にしているのか）	・市内在住（近隣地域含む）・在勤者・図書館職員						
手段 （具体的な事務事業のやり方、手順、詳細）	※平成22年度に実際に行ったこと： 緑が丘図書館の全蔵書にＩＣチップを添付し、データー入力した。						
	※平成23年度に計画していること： 平成22年度をもって完了						
意図 （何を狙っているのか）	蔵書を適切に管理する。						
ねらい（上位施策の意図）	入力対象外						
区 分			単位	2 1 年度	2 2 年度		2 3 年度
				実績	計画	実績	計画
対象指標	指標 1	常住人口	人	188,381	196,000	189,928	
	指標 2	事業に従事する人数	人	19	12	14	
	指標 3						
活動指標	指標 1	緑が丘図書館登録者数	人	17,394	18,250	17,844	
	指標 2	緑が丘図書館蔵書冊数	冊	124,885	133,000	133,844	
	指標 3	新規雇用の失業者	人	17	11	12	
成果指標	指標 1	緑が丘図書館登録率	%	9.2	9.3	9	
	指標 2	雇用の創出（新規雇用の失業者／事業に従事する人数）	%	89.5	91.7	85.7	
	指標 3						
上位成果指標	指標 1						
	指標 2						
	指標 3						

コード	4160	事務事業名称	緑が丘図書館蔵書管理事業				所属名	図書館
今後の方向性	⑥この事務事業の今後の方向性を選択し、その詳細について右欄に記入する。	☐ 改革・改善して継続			緑が丘図書館蔵書管理事業は、千葉県緊急雇用創出事業として平成２２年度の２ヶ年事業として完了した。また、全資料にＩＣタグを添付することで蔵書管理が可能となった。			
		☐ 手法プロセスの改革・改善						
		☐ 事業規模の拡大・縮小						
		☐ 統合・役割見直し						
	☐ その他							
☐ 廃止・休止								
☒ 事業完了								
☐ 現状のまま継続								
	⑦この事務事業の今後の経費・成果の方向性について選択し、右欄に理由を記載する。			経 費			事業完了することにより、成果は保たれて、経費が削減となるため。	
				削 減	不 変	増 加		
		成 果	向 上	☐	☐	☐		
			不 変	☒	☐	☐		
			低 下	☐	☐	☐		

この事務事業に対する市民や議会の意見（担当者が把握している意見） ※内部サービス業務の場合は、住民ではなく、サービス利用者、関連部門の意見や実態など									
蔵書を適切に管理することで、利用者の利便性の向上につながる。									

所属長コメント	緑が丘図書館の全蔵書にＩＣタグを添付することで、蔵書の適切な管理を行うことができ、将来ＩＣタグの機能を生かした新たな自動貸出機等の新たなサービスも可能となった。								
評価調整委員会評価	☐ 改革改善して継続			緊急雇用対策事業として実施した。平成22年度をもって事業完了とする。					
	☐ 手法プロセスの改革・改善								
	☐ 事業規模の拡大・縮小								
	☐ 統合・役割見直し								
☐ その他									
☐ 廃止・休止									
☒ 事業完了									
☐ 現状のまま継続									